



# 川崎マリンロータリークラブ

SAA  
伊藤秀司



例会 毎週木曜日12:30

例会場 サンピアン(川崎市立労働会館)

TEL. 044-222-4416

事務局 〒210-0004 川崎市川崎区宮本町2-27-402

TEL. 044-200-9249 FAX. 044-200-9252

U R L: <http://kawasakimarine-rc.com/>

E-mail: [marin-rc@eagle.ocn.ne.jp](mailto:marin-rc@eagle.ocn.ne.jp)



会長  
名古屋 治



幹事  
御幡幸男



副会長  
三野公一

## 9月28日(土) だいし水辺の楽校へ

### 地区補助金プロジェクトによる支援活動

(2013~2014年 ロータリー財団地区補助金プロジェクト「未来の夢計画」)



平成25年 9月28日(土)うす曇り、秋風ただよう多摩川土手のそばに大師河原干潟館が佇んでいた。

水辺の楽校とは、国土交通省が文部科学省、環境省と連携して進めているプロジェクトです。水辺をフィールドに、子どもたちが川に親しむ自然体験活動を推進しようというものです。

実際の活動主体は市民ですが、安全で活動に適した水辺の整備など、市や国も関わりながら事業を展開しています。日本全国で約291校が設立され、多摩川流域では19の水辺の楽校が活動中

もしくは準備中です。「だいし水辺の楽校」は、大師河原干潟館にあり、大師河原河川防災ステーションの一画にある大師河原水防センターの一部を利用し、NPO法人多摩川干潟ネットワークがその任を担っています。

本日、だいし水辺の楽校に対する地区補助金プロジェクト「未来の夢計画」による支援活動の初日となり、これまでマリンRCの会員が、打合せ、事前見学にここを何回も訪れており、皆この日感慨深く迎えました。また、本日開催される「ハゼ釣りとお魚のさばき方教室」では小学生以下、幼児も含めて25名とその保護者で2階の会場はいっぱいになった。

予定通り始まり冒頭、名古屋マリンRC会長より支援活動の一環として、ライフジャケットとマリンブーツ60組の贈呈式が行われた。ライフジャケットは赤、黄、緑の蛍光色でとても色艶やかでした。

名古屋会長、仲子校長、轟第一地区ガバナー補佐の挨拶に引き続き、担当者によるハゼ釣りについての説明と、安全注意事項説明の後、いよいよ河辺でのハゼ釣りが行われた。

マリンRCの会員10名も子供たちの手助けを童心に返って行っていた。15時にハゼ釣りも終わり釣り上げたハゼは全部で30匹ほどであった。

だいし水辺の楽校の担当者の説明によると、今日は潮が悪いとの事でした。

生きたハゼをさばく時、こども達から「かわいそう」との声が聞こえたが、これも生命の大切さを知る良い勉強になったのではないかと感じました。

最後まで長時間お手伝い頂いたマリンRCの皆様、御疲れさまでした。



# ライフジャケット・マリーンブーツ贈呈式 ハゼ釣りと魚のさばき方教室

